

印刷物の種類とその特性を知り、目的や読者に応じて使い分けましょう。

ポスター	<p>特徴 視覚的なインパクトで訴えます。 少ない部数で多くの人に知らせることができます。</p> <p>用途 啓発、イベント、参加者募集など</p>
ちらし	<p>特徴 1枚で必要な情報を伝えます。 伝える情報は簡潔に要領よくまとめる必要があります。</p> <p>用途 啓発、お知らせ、イベントプログラムなど</p>
パンフレット	<p>特徴 文章、写真、グラフ・図表などを使い、系統だった説明や多面的な解説が可能です。</p> <p>用途 テキスト、事業説明など</p>
冊子	<p>特徴 大量の情報を伝えることができます。</p> <p>用途 資料、記録、報告など</p>



音声版には、以下のものがあります。

(1) CD

(2) デイジー (DAISY) 録音図書

(DAISY: Digital Accessible Information Systemの略)

デジタル録音図書(電子文書)で、1枚のCDに50時間以上の収録が可能です。専用の機械やソフトをインストールしたパソコンを使って再生します。目次から読みたい章や節、任意のページに飛ぶことができるので検索が容易です。

(3) 音声コード

約2センチ四方の画像の中に、日本語で800文字程度の情報を記録できます。専用の活字文書読み上げ装置やスマートフォンのアプリによって、記録されている情報を音声で読み上げます。パソコンに専用ソフトをインストールすると、作成したワード文書を音声コード化できます。

一部、互換性のないものもありますので注意しましょう。

印刷物に切カキを入れて、音声コードの掲載位置を知らせます。

